

015 2015年8月22日

7:48

こんにちは、松村拓也です。

松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

015 目次

1. 今週のトピックス
2. 自分の意見 (サロン)
3. 空き家を無くせ (ブログ)
4. 今週のお誘いイベント
5. アクセスポイント
6. このメルマガについて

1. 今週のトピックス

■先週の報告

(月)

お盆休み明けの今週は、火曜日から笑恵館の夏休み。我が家は福岡に転勤した弟夫婦が「福岡はほんとにいい街だ」とあまりにうるさいので、それを確認がてら、母を連れて出かけることにしました。仕事は午前中に片付けて、今週は九州旅行のレポートです。

(火)

前日連れ帰った母を積んで、昼前の便に乗るべく車で羽田に向かいました。お盆明けということで舐めてかかっていたら、空港はもちろん、周辺の民間駐車場はすべて満車状態。これはやばいということになり、思いつきで国際線ターミナルに向かったところ、何とか駐車場に空きがあり、ほんとに冷や汗モノでした。福岡空港には弟夫婦が出迎えてくれて、地下鉄で博多駅前のホテルにチェックイン。空港から都心まで2駅ですから、東京で言えば新橋に空港がある感じ。弟情報によれば、底地権はほぼ一人が所有しているようで、すごい地代な

んでしょうね。食事をしてからまた地下鉄に乗り、天神で西鉄に乗り換えて大宰府へ。西鉄って大手私鉄では唯一トンネルのない電車だとか。ソーダ水色の車両が、テッチャンの僕にはグッときました。

昔海に面していたはずの大宰府は今ではずいぶん内陸に位置していますが、道真公の天満宮は1000年の歴史を刻む木々に囲まれ、亀戸天神とは比較にならない立派な佇まいでした。ただし、4時半になるとすべてのお店が店じまい。たどり着いた観光バスから降り立った外国人観光客は、ちょっとお気の毒でした。天満宮の奥の山上には、巨大な九州国立美術館がそびえ立っていて、この地が世界に向けての玄関として機能してきた歴史を考えればふさわしいのかも知れませんが、何とも場違いな感じでした。

夜は、西新の弟宅近くの居酒屋で会食。郊外の住宅地と下町の風情が同居したこの町は、博多から地下鉄で9駅目。コンパクトな町だから住みやすいのだと実感しました。

(水)

2日目は、博多タワーから市内と海を一望した後、カミさんの生まれた八幡東に向かいました。ケーブルカーで登った皿倉山山頂からの眺めは、絶景・おすすめです。ただ、見える景色は鉄のまちの名残そして廃墟。僕が子供のころ教科書に乗っていた「東洋一の若戸大橋」が、ひっそりと見えました。

故郷探検の後は、大分県へ。中津名物「鳥の唐揚げ」を食べようとしたんですが、どこのお店も夏休み。お盆の後は観光地の店が休むとは、悲しい発見でした。でも資料を集め探したところ、次の目的地「青の洞門」のさきの「川倍精肉店」が営業中と判り、山奥の肉屋で唐揚げランチを食べました。帰りに寄った青の洞門は、菊池寛の「恩讐の彼方へ」で一躍有名になった手掘りのトンネル。じゃらの観光地ランキングで大分県1位のはずなのに、現地の案内は不親切でちょっと残念でした。

この日の宿泊は別府温泉。明礬温泉の泥湯に入りたかったのに、土砂降りが降ってきて、残念だけど諦めました。その代わりに、食後息子と二人で別府駅近くの竹瓦温泉へ。ここは明治13年の創設で、公衆浴場に何と砂湯がついているのだが、残念ながら「第3水曜日定休」ということで、100円の風呂で我慢して帰りました。

(木)

3日目は、名物地獄めぐり。これはおそらく世界有数の温泉エンターテインメント。間欠泉をはじめ、各種の源泉に加え、和風、洋風、ワニやピラニア、ランヤハスなど趣向を凝らした8カ所の源泉を巡る2100円のアトラクションです。僕が一番面白かったのは「かまど温泉」。案内役の「鬼おじさん」が、たばこを片手に温泉ガスの化学反応を見せるパフォーマンスがバカ受け。結局、観光の目玉は「ヒト」ですね。最後の坊主地獄で車に家族を載せようとしていたら、香港から来た家族の車がバックで激突。警察を読んでしばしの事故処理。神様、なんだか知らないけど、お許しを・・・とほほ。ま、気を取り直して、次の目的地湯布院へ。

別府が「温泉資源の大都会」なら、湯布院はのどかな田んぼの中の「温泉村が原宿化」した

代表例。田んぼの中に池がありそれらをつなぐ農道には、今やカフェやブティックが立ち並び観光客と観光バスがひっきりなしに行きかっています。ひっそりとした秘湯・・・などと言うイメージは完全に裏切られるけど、「観光客」には大人気。この町みたいになりたいのか、なりたくないのか、寒村の活性化の踏み絵みたいな町でした。

続いて訪れたのが、活力を失った温泉街の旅館が互いの風呂を宿泊客に開放することで、活性化したことで知られる黒川温泉。「街全体が一つの宿 通りは廊下 旅館は客室」というキャッチコピーが口コミで広がったことが、今の時代を象徴しているのかも。

午後は、阿蘇の雄大な景色を堪能し、山頂行のロープウェイ乗り場に辿り着くと、危険度2で立ち入り禁止。昨年の7月からの措置だということから、お気の毒としか言えない。でも、雄大な火山と言い、マグマが温めた温泉といい、ちょっと危ない日本列島だからこそ、観光資源が豊富だとも言えるわけですね。

(金)

今日は最終日。朝は昨年完成した熊本城の本丸御殿へ行ってみました。中国の4台美女の一人「王昭君」の故事にちなんだ「しょうくんの間」が、実は徳川側についたものの、いつの日か豊臣秀頼を将軍(しょうぐん)として迎えるための部屋として作ったものと言う、、歴史的な語呂合わせに一同唸りました。

午後からは、世界遺産申請で話題の「隠れキリシタン文化」を一目見たいと思い、天草の南端を目指しました。こんな地の果てのようなところに、なぜ多くのキリシタンがいたのだろうと思っていましたが、ポルトガルから船で来た宣教師にしてみれば、むしろ上陸しやすい地点だったはず。地域の端とか真ん中とか、何を根拠に決めるのか、考えてみたいテーマだと思いました。

こんな感じで、今回もまたひたすら走り回る「行ってみるだけの旅」をやってしまいました。「もう少しのんびりしたら」とよく言われるんですが、その「もう少し」をやるくらいなら、1つでも多くを見たくてつい走ってしまいます。相手の身になるということは、どこでも行ってみることに通じるものがあります。「行ってみなければ判らないこと」をきちんと押さえないと、行かないでも判ることだらけで終わってしまいます。「旅」で一番大切なのは、行ってみることではないでしょうか。

(土)

今朝は、旅行ボケで寝坊し、旅行中も欠かさなかった朝歩きをさぼってしまいました。食事制限と朝歩きは旅先での体調管理に絶大な効き目があることが判りました。午前中は自宅活用の相談でHさんのお宅訪問。自宅から山梨に通学中の息子さんと追盛り上がって長話になってしまいました。

午後からは、ちょっと疲れが出てきましたが、旅行で集めた資料整理と、この旅行記を書いています。次の旅行は次男と行く「インド5日間の旅」を企画しているんですが、そこに午前中お目にかかったHさんからbccでインド旅行のお誘いが。これは何かありそうですよ。

■今週のトピックス

早くも月末、8月も終わりですね。先ほどテレビでテニスの全英オープンの予告を見て、錦織の決勝戦からもう1年が過ぎたのかとがっかり気分。今月はインプットばかりで、ビジネスリーグの企画書がほったらかしになってます。明日から切り替えて、がんばらなくちゃ。と言いつつ、30日は日帰りで新潟方面に、十日町と大地の芸術祭を見てきます。ではでは！

2. 松村拓也サロン「自分の意見を言ってみようぜ」(有料サロン)

[意見]とは、人が特定の状況や対象に対してもつ特定の態度の言語的表明(ブリタニカ百科事典より)のこと。自分の意見を言うことは、何かに対する自分の態度を表明することであって、何かを提案したり考えることではありません。

このサロンは松村拓也の提案ではなく、日々の活動や言動に関する意見を表明するプロジェクトです。皆さんからの疑問や反論をいただき、議論することにより僕自身の意見を鍛え上げ、世界を変える道具にしていきたいと考えています。

これまで発信した意見から、その冒頭部分をお届けしますので、よろしければぜひご入会ください。

+++++

#016【ワークライフバランスの行方】20150617

ワークを[働く]、ライフを[生きる]と置き換えると、[働くと生きるのバランス]って何だろう。そもそも「ワークライフバランス」は、[働いていない人]と[生きていない人]が生まれたことが発端なのではないかと、僕は気づいた。昔に比べると、現代社会においてこういう人が明らかに増えている。確かに「職住分離」や「育児休暇」など企業ではその象徴的な現象が起きているが、そこは決して「ワークライフバランス」の主戦場とは思えない。この問題に対し、どこか[他人事]的な感情を抱く原因はそのあたりに有るような気がする。多くが語られている企業や職場という枠から飛び出して、社会全体を概観する議論をしてみたい。

・

問題の一つは[働かない人の増加]だ。その根底には働きたくないという願望がある。豊かさの一つの定義が[働かなくてもよい状態]のため、働かないことを目指すことは悪ではない。様々な理由で働けない人もいるので、いつしか[働かなくてもよい]という社会の合意が作られたように思える。現に[働けるのに働かない人]に対しても社会は寛容だ。「働く意欲を持てる社会に」などという意味不明の言葉もまかり通っている。

・

もう一つの問題は、[生きていない人]の増加だ。これは[死んでいる]ののではないが、[生き生きとしていない]とか[生きている価値が無い]ことを指す。死なないことが価値とされ、安全や医療はそれを目指しているが、死なないことが生きることではないだろう。むしろどう生きれば死んでもよいか、死よりも価値のある生を求めること…言い換えると「どう死ぬか＝生きること」と僕は思う。…続きはサロンで

+++++

#017【前とは何か、世界は今も進行形】20150618

先日、旧友の建築家A氏と会食した際「松村さあ、林業って戦後の産業だって知ってた？」という話が飛び出した。確かに林業や農業に限らず、現代の僕たちが頭に描く多くの産業は、今から70年前の終戦後に生まれた。山に植林した材木を木材として出荷するのに100年かかるとすれば、林業はまだその年数を経していない。「これを成功だ失敗だという議論はそもそもおかしいんじゃないか」とA氏は言う。

・

僕も全く同意見だ。[うまくいかないこと]と[失敗]は別物だ。なぜなら、[こうならないようにすべきだったこと]が解決策とは思えないから。むしろ[これから何を目指し何をなすべきか]を考えればよいだけのこと、しごく当たり前のことだと僕は思う。そもそも成功や失敗というのは、結果に対する評価のことだが、そのほとんどは暫定評価にすぎない。なぜなら、この世界はそう簡単には終わらないし、何事にもその後がある。破たんとか失敗という言葉で思考が停止してしまうことこそが、一番恐ろしいと僕は思う。

・

ビジネス伝承フェアというイベントで、下北沢の茶師十段O氏から「お茶屋(茶の販売店)は戦後にできた商売」という話を聞いて驚いた。僕はてっきり室町時代あたりからと思っていたが、そもそもペリーが黒船でやってきて、日本は外国との貿易を始めたが、売るものが無かったので政府は全国でお茶と桑(絹生産)を植えさせたとか。しかし当時の日本には商品として販売できるお茶は宇治茶ぐらいしか見当たらず、それを全国で作らせた。やがてイギリスのリプトンなどが植民地で大量生産を開始したため、日本の茶葉は売れなくなり、国内での販売に切り替えた。それまで自家製のお茶を飲んでいた日本も宅地化が進んでお茶を買うようになり、国内でのお茶販売が始まったとのこと。…続きはサロンで

+++++

このサービスは、[facebook のグループ]を利用したものなので、facebook を利用していない方は参加できませんが、遠距離でこのメールを読んでいらっしゃる方には、特におすすめです。

皆さんの[自分の意見]も楽しみにしています！

もちろん、初めは読むだけでもOKですよ。

※サロンへのお申込みはこちら

→ <http://synapse.am/contents/monthly/matsumuratakuya>

3. 空き家を無くせ (ブログ)

※ブログサイトはこちら

→ <http://nanoni.club/>

4. 今週のお誘いイベント

来週は、笑恵館の夏期休業を利用して九州に行きます。何かありましたらメールください。

面談歓迎 同行可能 参加可能

(月) 8/27 午後から笑恵館にいます

(火) 8/25 午後から笑恵館にいます

14:00 ★セミナー「笑恵館を学ぼう」

17:00 ★笑恵館クラブ 運営会議

(水) 8/26 自宅作業

(木) 8/27 なし(都心にいます)

(金) 8/28 朝から笑恵館にいます

11:00 Sさん MTG

15:00 ★シェア奥沢 (クールシェアランチ)

19:00 ★笑恵館レジデンス食事会

(土) 8/29 なし (自宅作業)

(日) 8/30 新潟・十日町 (出張)

僕が主催・参加する各種イベントをご紹介します。
あなたも参加可能ですので、興味があればお問い合わせください。

※僕の動向はこちら 面談ご希望の方は気軽にご連絡ください
→<http://nanoni.co.jp/schedule>

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp <<mailto:takuya@nanoni.co.jp>>

携帯 090-9830-3669taku8823@ezweb.ne.jp <<mailto:>>

自宅 株式会社なのに(平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場 一般社団法人日本土地資源協会

ビジネスリーグプロジェクト事務局

〒157-0073

東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://land-resource.org/>

<http://shokeikan.com/>

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

/Copyright © 2015 一般社団法人日本土地資源協会, All rights reserved./

旧マインドレターメールリスト

一般社団法人日本土地資源協会

砧 6-27-19

世田谷区, 東京都 157-0073

Japan

Add us to your address book

<<http://land-resource.us10.list-manage2.com/vcard?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9>>

メルマガの購読をやめる

<<http://land-resource.us10.list-manage1.com/unsubscribe?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9&e=&c=a4f8e50269>>

購読方法を変更する

<<http://land-resource.us10.list-manage.com/profile?u=800df08672d8b31689226516d&id=df33ae0ce9&e=>>

Email Marketing Powered by MailChimp

<http://www.mailchimp.com/monkey-rewards/?utm_source=freemium_newsletter&utm_medium=email&utm_campaign=monkey_rewards&aid=800df08672d8b31689226516d&afl=1>